

ずっと守りたい 千代田区の生物多様性

高度に都市化した千代田区にも、皇居をはじめ、公園、お寺や神社といった身近な生き物が生きる場が残されています。これらの実態を知る

ため区内の動植物の調査をしたところ、2120種もの動植物の生息・

生育情報が得られました。こうした生き物の

豊かな生息環境を守り、広めるため

千代田区は「生物多様性地域戦略」の

策定を進め、区民や事業者などと連携し、

生物多様性を守るまちづくりに取り組んで

いきます。その一環として、今夏は、子ども

たちの生き物への関心を高めるため、

「昆虫観察会」を行ないました。



高山と孀恋で森づくり 「ちよだの森」

千代田区は、地方都市と連携して、森林を整備し、地球温暖化対策を進めています。岐阜県高山市とは、森林整備事業の協定を結び、10haの間伐を10年間続けることにしています。この事業により得られるCO₂

の吸収量で、千代田区から排出されるCO₂の一部をうめあわせる、カーボン・

オフセットを行ないます。また、姉妹都市である群馬県孀恋村では、区民と

地元の人たちが交流しながら、

植樹を体験する共同事業「ちよだ・

つま恋の森づくり」を行なっています。

これらの森づくりを通じて、環境・

自然保護意識を育てています。



ビジネス街を涼しく 区内一斉 打ち水キャンペーン

千代田区は、8月を打ち水月間としています。2012年度は、8月1日を

「一斉打ち水の日」と定め、区全体で打ち水をしました。区では、区民や商店、

事業所などに幅広く打ち水をしてもらうために、木桶、ひしゃく及び

バケツの貸し出しの他、ジョウロを無料で配布し、打ち水を応援しています。

